

# イモリ

発行日：2022年 12月 6日

## 最近の学校イモリたち

最近の学校のイモリたちは、相変わらずよちよちしていますが、とりあえずは生きています。

現在は、冬の活動停止期間を迎える前に、出来るだけ太らせようと頑張っています。本校のイモリは、おそらく痩せ気味の個体が多いです（これはお世話している側の飼育経験の不足によるものです）。なかなかたくさん食べさせることは難しいですが、試行錯誤しながら飼育を続けています。



↑まだピンセットからでしか食べてくれない

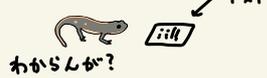
目最近はやうやく  
冷凍アカムシ(解冻)を  
食べるようになった

めっちゃ大変…… 食べないせいでいる……!

少し心配な個体は  
教員のおうちに持って帰って  
お世話をしています、  
(ホットにしている、とさう)

右の写真のイモリたちは、教員のおうちに  
住んでいただいているイモリです

テスト期間中……



Vol. 56

# しんぶん

イモリしんぶんを  
見る前に勉強  
してね

やっばるか?

発行：朝日塾中等教育学校 理科

排水口を  
生き残ったイモリ



一度脱走して排水口で見つ  
かたイモリ。発見したときは  
虫の息でぐかもしていました。  
3週間くらい絶って  
ようやくエサを食べるよう  
になりました(やせちゃった……)。



このちんすこうは中3からの  
沖繩おみやげです。ありが  
たごじいさまにいただきました。

同じ年に生まれた個体ですが、一方は  
テスト環境で飼育していた個体です。  
ずっとあたたかい場所にいたので  
毎日エサをしっかりと食べ、めっちゃ  
大きくなりました。(ちんすこうサイズ)

残りの生存数(印体)……

51 匹 (12月5日時点)

死は  
しょうがない



…… 🧑🏫

次回 イモリの地域性